

\*三月は節目の季節、年少、年中は一学年ずつ先へ、年長組は幼稚園との別れの月、そして新しく始めるために良い備えをする月です。

\*「いつの間にか」いえいえ「やっ」とこんなに大きくなって、とりあえず、やれやれです。今年も「あんなこと」「こんなこと」あったでしょう。人生は後ろ向きでなく、常に前に向かうもの、お別れは少し寂しいですが明るい笑顔で年長組を送りたいと願っています。

\*それでも3～4才のころの子どもさんはなんでも「イヤッ」の時期、親御さんにとっては「もう少し何とかならないの？」目前の子どもさんの成長の姿に戸惑ったり、不満だったりなど理解に苦慮し、いらだちを感じられる時もあるかもしれません。

親といえども子どもさんの問題はこちらの一方的な努力や思いでは解決しないことがあるようです。本人がその気にならなければどうにもならないし、子どもは親御さんの期待にそれとなりに重荷を感じていて「やる気をそがれる」こともあるかもしれないなど、心の内は複雑なのです。

そんな時は心身共に力を抜いて静かに見守っていると「いつの間にか」暗雲が開いて光がさすように、解決の糸口が見つかったりします。これからも子どもさん自身が、自分の意思でやることはどんな小さなことでも大切にしたいものです。何しろ命は前向き、前に進むようにできています。本来の前向きの命の幸いを信じて「待つ心」で温かく接してあげたいものです。応援しています。

この一年、保護者会の小林会長をはじめ、幹事の皆さま、会員の方々、保育行事をはじめ、陰ながらのお働き、温かいお支えなど大変お世話になりました。本当にありがとうございました。尚当園の気づきや配慮の足りないところなど多々あったかと思いますがお許してください。

丸山小羊幼稚園はこれからも「人格形成の根っこづくり」を目指して子ども一人と丁寧に向き合えるよう、教職員皆で励んでまいります。

どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

“何事にも時があり”

天の下の出来事にはすべて定められた時がある。生まれる時、死ぬる時・・・泣く時、笑う時、嘆く時、踊る時  
愛する時、憎む時、戦いの時、平和の時、・・・

神はすべてを時宜にかなうように造り、また永遠を思う心を人に与えられる。それでもなお、神のなさる業を始めから終わりまで見極めることは赦されていない。